

共同利用・共同研究申請書（随時募集研究）

京都大学霊長類研究所長 殿

| | | | |
|--------------|--------------------------|--------|-------|
| 申請日 | 年 月 日 | | |
| 氏名（ふりがな） | （ ） | 生年月日 | 年 月 日 |
| 所属機関・部局・研究室名 | | | |
| 職名 | | | |
| 所属先 住所 | 〒 | | |
| 電話 | | | |
| Eメール | | | |
| 自宅 住所 | 〒 | | |
| 所属先 最寄駅 | | 自宅 最寄駅 | |

貴研究所共同利用・共同研究（随時募集研究）（継続・新規）に下記により申請します。

記

| | |
|---------|------------------|
| 所内対応者氏名 | |
| 研究題目 | |
| | 前年度の採択番号(継続の場合)： |

| | |
|-------------------------------|--|
| 大学院学生、研究員等（*） | <input type="checkbox"/> 該当する。 → [] 指導(受入)教員等から申請の許可を得ている。 <input type="checkbox"/> 該当しない。 |
| 該当する場合 指導(受入)教員等の氏名、所属と連絡先 | 指導(受入)教員等の氏名 所属機関 連絡先(E-mail) |

（*）代表者が大学院学生や科学研究費補助金等のプロジェクト経費で雇用されている研究員、またはそれに相当する身分の場合は「該当する」、その他の場合は「該当しない」の口をクリックしてチェックをつけてください。また、該当する場合は [] の中に◎を記入してください。

研究目的（予定の研究期間内に明らかにしようとする点を中心に、具体的に500字程度で）

研究計画・方法（具体的に500字から1000字程度で。研究期間内の計画と申請年度の計画がわかるように記載してください。とくに、動物実験を含む場合には使用個体数や実験手法などについて、野外調査の場合には調査地や期間、研究手法について記載してください。）

これまでの研究の経緯と成果（とくに、継続課題の場合は、その進捗状況や共同利用研究として継続して実施することの必要性について詳述のこと）

対応者コメント（必須、研究の重要性について評価し、過去に類似の研究を行ったことがある場合には、その進捗状況について記述してください）

消耗品の使途予定（該当しない場合は記入不要です）

| 品名 | 数量 | 金額 | 備考 |
|-----|----|----|----|
| | | 円 | |
| 合 計 | | | 円 |

旅行日程（該当しない場合は記入不要です）

| 出張者氏名 | 日 程 | 場 所 | 期 間 |
|----------------|------------------|---------|--------|
| （記入例） 猿飛 佐助 | 29年8月1日～29年8月15日 | 東京・犬山往復 | 14泊15日 |
| | | | |

概算旅費（全旅程に必要な、おおよその旅費を記入してください）

円

備考：

研究計画の実施可能性に関する審査事項

当該共同利用・共同研究について、本研究所の各種委員会が、本研究所等の施設や設備、資試料の状況や各種許可などの観点から、実施できるか否かを審査します。本ページ以降は、その審査のために必要な確認事項や各種申請書の申請状況等を記載する欄です。記入漏れがあると、審査が遅れたり、不採択になったりする場合がありますので、漏れのないように注意してください。

まず、以下にある誓約に、□にチェックをして同意してください。

共同利用・共同研究の実施に関して、本研究所が定めるところの、資試料利用や動物実験等の各種実験、野外研究、ヒトを対象とした実験にかかる条件を遵守する。

次に、使う資試料や材料、研究の様態のうち、該当するものの□にチェックをつけ、次ページ以降のⅠ～Ⅴの必要な項目を記入してください。

- 骨格等標本や所蔵試料を使用する
→ Ⅰ. 資試料の使用・採取、および利用方法に関する計画（資料委員会）
- 動物個体を使用する（所内飼育サルの観察等を含む）。試料採取をしない。
→ Ⅱ. 動物実験（所内飼育サルの観察等を含む）に関する申請（動物実験委員会）
- 動物個体を使用する（所内飼育サルの観察等を含む）。試料採取をする。
→ Ⅰ. 資試料の使用・採取、および利用方法に関する計画（資料委員会）
Ⅱ. 動物実験（所内飼育サルの観察等を含む）に関する申請（動物実験委員会）
- 遺伝子組み換え実験を行う、または病原体を取り扱う
→ Ⅲ. 遺伝子組み換え実験・病原体取扱に関する申請（バイオセーフティ委員会）
- 野外調査を行う（試料の収集も含む）
→ Ⅳ. 野外調査実施に関する計画（野外研究委員会）
- ヒトを対象とした実験を行う
→ Ⅴ. ヒトを対象とした実験に関する申請（ヒトを対象とした研究倫理委員会）
- いずれにも該当しない
→ 記入は不要

| | | | | | |
|------|----|-------|--|---------|--|
| 研究区分 | 研究 | 申請者氏名 | | 所内対応者氏名 | |
| 研究題目 | | | | | |

I. 資試料の使用・採取、および利用方法に関する計画（資料委員会）

【1. 資試料の使用または採取に関する計画】

所蔵資試料を使用する。
以下に、資試料のタイプや利用部位・量、種、サンプル数などについて説明してください。
(例：骨格標本、ニホンザル、20標本；液浸標本、上腕部、チンパンジー、10標本；RNAlater 処理後冷凍保存されている脳試料、一領野あたり1cm 角、オランウータン、ゴリラ、それぞれ2個体分)

本研究所飼育動物個体から試料採取をする。
以下に、採取する試料のタイプや利用部位・量、種、サンプル数について説明してください。
(例：血液3ml、ニホンザルとアカゲザル、それぞれ20個体分；眼球1個と舌3mm角、コモンマーモセット、3個体分)

【2. 資試料の利用方法に関する計画】

資試料を借用し、所外へ一時的に持ち出し、使用後に返却する。（借用時に借用書が必要。）

借用先の機関名：

資試料を譲り受けて、所外で使用する。（前もって試料移転契約書の締結が必要。）

資試料譲渡にかかる条件を遵守する。

譲渡先の機関名：

動物園館など所外から本研究所に譲渡された、もしくは譲渡されるかもしれない資試料を用いる。
(前もって試料移転契約書の締結が必要。)

譲渡元機関がわかっている場合にはその機関名：

CT 撮像を予定している（所内外に関わらず、CT データ利用申請書が必要。）

| | | | | | |
|------|--|-------|--|---------|--|
| 研究区分 | | 申請者氏名 | | 所内対応者氏名 | |
| 研究題目 | | | | | |

Ⅱ. 動物実験(所内飼育サルの観察等を含む)に関する申請 (動物実験委員会)

【1. 動物実験計画書の申請】

| |
|--|
| <p>1) 当該共同利用・共同研究の実行に関して、本研究所動物実験委員会に申請した動物実験計画書について、以下に記載してください。(複数ある場合はすべて)</p> <p>申請番号： 申請責任者氏名：</p> |
| <p>2) 当該共同利用・共同研究の実行に関して、申請者の所属機関等への動物実験計画書の申請状況について、以下に記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 申請中もしくは、承認済み</p> <p>申請先(委員会等の名称と連絡先)： 申請(承認)番号： 申請責任者氏名： 承認日(申請中は記載不要)： 申請課題名：</p> |
| <p>3) 当該共同利用・共同研究の実行に関して、1)、2)に記載した計画書に関して説明を要する場合は、以下に記載してください。</p> |

【2. 所内飼育サル類の非侵襲的な体毛採取、糞便採取、観察などの計画】

| |
|--|
| <p>1) 当該共同利用・共同研究の実行に関して、本研究所動物実験委員会に届け出た動物実験計画書(カテゴリーA)届出書について、以下に記載してください。(複数ある場合はすべて)</p> <p>届出番号： 届出責任者氏名：</p> |
| <p>2) 当該共同利用・共同研究の実行に関して、1)に記載した計画書に関して説明を要する場合は、以下に記載してください。</p> |

| | | | | | |
|------|----|-------|--|---------|--|
| 研究区分 | 研究 | 申請者氏名 | | 所内対応者氏名 | |
| 研究題目 | | | | | |

Ⅲ. 遺伝子組み換え実験・病原体取扱に関する申請（バイオセーフティ委員会）

【1. 遺伝子組み換え実験の申請】

| |
|--|
| <p>1) 当該共同利用・共同研究の実行に関して、本学組換え DNA 実験申請書の申請状況について、以下に記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 必要なし（学外で使用）</p> <p><input type="checkbox"/> 申請予定、もしくは申請中（承認後、実験開始可能です。）</p> <p><input type="checkbox"/> 承認済み</p> <p>承認番号： 申請責任者氏名： 承認日：</p> |
| <p>2) 当該共同利用・共同研究の実行に関して、申請者の所属機関等への遺伝子組み換え実験に関する申請状況について、以下に記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 必要なし（学内で使用）</p> <p><input type="checkbox"/> 申請予定、申請中（承認後、実験開始可能です。）</p> <p><input type="checkbox"/> 承認済み</p> <p>承認した委員会等の名称と連絡先： 承認番号： 申請責任者氏名： 承認日： 申請課題名：</p> |

【2. 病原体取り扱いに関する申請】

| |
|--|
| <p>1) 当該共同利用・共同研究の実行に関して、本研究所にて取り扱う病原体について、以下に記載してください。（複数ある場合はすべて）</p> <p><input type="checkbox"/> BSL1 レベルの病原体（ウイルスベクター含む）を取り扱う</p> <p><input type="checkbox"/> BSL2 レベルの病原体（ウイルスベクター含む）を取り扱う（BSL2 病原体取扱申請の申請が必要です。）</p> <p>病原体等の名称：</p> |
| <p>2) 1)に記載した BSL2 レベルの病原体の取り扱いについて、本研究所バイオセーフティ委員会への BSL2 病原体取扱申請書の申請状況について、以下に記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 申請予定、もしくは申請中（承認後、実験開始可能です。）</p> <p><input type="checkbox"/> 承認済み</p> <p>承認番号： 申請責任者氏名：</p> |

| | | | | | |
|------|----|-------|--|---------|--|
| 研究区分 | 研究 | 申請者氏名 | | 所内対応者氏名 | |
| 研究題目 | | | | | |

IV. 野外調査実施に関する計画（野外研究委員会）

【1. ガイドライン準拠と調査実施のための法的許可に関する説明】

1) 本研究所「野生霊長類を研究するときおよび野生由来の霊長類を導入して研究するときのガイドライン」の準拠について

- 準拠する。
- 準拠できない、もしくはできない可能性がある。
以下に、その理由を詳述してください。

2) 試料収集、捕獲、侵襲的実験について

- 試料収集、捕獲、侵襲的実験は行なわない。
- 試料収集、捕獲、侵襲的実験を行う。
以下に、法的許可（試料の収集や持ち出しに関する許可、捕獲に関する許可、麻酔薬等の薬品の使用に関する許可など）の取得（予定）について記述してください。

| | | | | | |
|------|----|-------|--|---------|--|
| 研究区分 | 研究 | 申請者氏名 | | 所内対応者氏名 | |
| 研究題目 | | | | | |

V. ヒトを対象とした実験に関する申請（ヒトを対象とした研究倫理委員会）

【1. ヒトを対象とした実験の申請】

| |
|--|
| <p>1) 当該共同利用・共同研究の実行に関して、本研究所ヒトを対象とした研究倫理委員会に申請した研究計画書について、以下に記載してください。（複数ある場合はすべて）</p> <p><input type="checkbox"/> 申請中、もしくは承認済み（承認後、実験開始可能です。）</p> <p>申請(承認)番号： 申請責任者氏名：</p> |
| <p>2) 当該共同利用・共同研究の実行に関して、申請者の所属機関等への実験に関する申請状況について、以下に記載してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 必要なし</p> <p><input type="checkbox"/> 申請中、もしくは承認済み（承認後、実験開始可能です。）</p> <p>申請先(委員会等の名称と連絡先)： 申請(承認)番号： 申請責任者氏名： 承認日(申請中は記載不要)： 申請課題名：</p> |